学校番号	２１５

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	新 現代の国語　（桐原書店）						
副教材等	入試頻出漢字+現代文重要語彙 TOP 2500 四訂版　（いいずな書店） 現代文 解法のテクニック 1 三訂版　（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、説明をよく聞き、ノートはただ写すだけではなく、復習するときにわかりやすいように工夫しましょう。授業内容が理解できたかどうかは、定期テストだけではなく、日頃の発言や発表、提出物、ノートの記述などを総合して判断します。

問題集など授業で詳しく扱わない単元も定期テストに出題します。日常的に長文の読解のトレーニングをしていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の 各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	〈知〉のコミュニティへ ［教材］ わからないぐらいがちょうどいい 最果タヒ	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[話／聞]：「わからないぐらいがちょうどいい」について、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 c：教材から読み取った内容に関連した事柄や情報について意見を述べることができている。	定期考査 提出物	定期考査 提出物	小テスト 提出物
	言葉に表す ［教材］ ふしぎと人生 河合隼雄	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用している。 b[話／聞]：「ふしぎと人生」について、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるよう表現を工夫している。 c：教材から読み取った内容に関連した事柄や情報について意見を述べることができている。	定期考査 提出物	定期考査 提出物	小テスト 提出物
	筋道をつかむ ［教材］ ほどほどのデザイン 佐藤卓	a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「ほどほどのデザイン」について、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：比較や具体例を通じて理解した筆者の見解や論理の展開を踏まえ、自らの考えを深めようとしている。	定期考査 提出物	定期考査 提出物	小テスト 提出物
	視点を変える ［教材］ カルチャーショック 村田沙耶香	a：情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使用している。 b[書]：「カルチャーショック」について、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 c：固定化されがちな見方や考え方に対して、その意義や本質について考え、発信し、新たな視点で物事を捉えようとしている。	定期考査 提出物	定期考査 提出物	小テスト 提出物

二学期	他者と向き合う ［教材］ 神様 川上弘美	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。 b[書]：「神様」について、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c：自分とは違う文化や価値観などに目を向け、他者との関わりを振り返ったり、他者について考えるなど、他者を理解しようとしている。	定期考査 提出物	定期考査 提出物	小テスト 提出物
	問いを立てる ［教材］ サイボーグとクローン人間 山崎正和 〔参考〕人間拡張の現在 吉川浩満	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]：「サイボーグとクローン人間」について、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c：自分が抱いた疑問や矛盾について具体的な問いを立て、問いに向き合おうとしている。	定期考査 提出物	定期考査 提出物	小テスト 提出物
	論理を組み立てる ［教材］ 羅生門 芥川龍之介	a：推論の仕方を理解し使用している。 b[書]：「羅生門」について、読み手に対して自分が主張したいことが明確に表わせないため、正しく伝わる文章としてまとめることができていない。 c：各教材のさまざまな論理展開を確認して論理の組み立て方を身につけ、自分の考えを伝えようとしている。	定期考査 提出物	定期考査 提出物	小テスト 提出物
	つながりを見いだす ［教材］ 遅れてきた「私」 若林幹夫	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用している。 b[読]：「遅れてきた『私』」について、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c：社会や他者とのつながりを意識することで自分自身と向き合い、自分のあり方について考えようとしている。	定期考査 提出物	定期考査 提出物	小テスト 提出物
三学期	常識を問い直す ［教材］ 言葉は「ものの名前」ではない 内田樹	a：文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b[読]：「言葉は『ものの名前』ではない」について、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c：当たり前とされがちなことについて問い直し、考えることで、新たなものの見方や考え方を得ようとしている。	定期考査 提出物	定期考査 提出物	小テスト 提出物
	情報を関連づける	a：引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使用している。	定期考査 提出物	定期考査 提出物	小テスト 提出物

	［教材］ 食の履歴書 湯澤規子	b[読]:「食の履歴書」について、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c:教材について、叙述を基に内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要点を把握することができている。			
	展望を描く ［教材］ 夢十夜(第一夜・第六夜) 夏目漱石	a:話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用している。 b[書]:「夢十夜(第一夜・第六夜)」について、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 c:自分の世界観から一歩踏み出し、自らの想像力を働かせて未来の姿を思い描き、発信しようとしている。	定期考査 提出物	定期考査 提出物	小テスト 提出物

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　20　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　20　）時間